Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Pack 16.x
リリースノート

2023 年 12 月版

目　次

本ドキュメントについて.....1
各リリースにおける変更点.....1
注意事項（構築時）.....2
注意事項（運用中）.....2

■商標登記について

Microsoft®, Windows, Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。なお、本資料に記載されているシステム名、製品名等には、必ずしも商標表示(R)、(TM)を付記していません。その他、一般製品名・社名は、各社の商標または登録商標です。

本ドキュメントについて

このドキュメントでは、Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Pack 16.x ユーザーズガイドに記載していない補足情報、トラブルシューティングの情報を提供します。

なお、本資料で記載する「保守情報」とは、下記製品の保守情報を指します。採取方法につきましては、各製品のマニュアルをご確認ください。

- ETERNUS DX ディスクストレージシステム
- ETERNUS Storage Systems Monitoring Pack
- ETERNUS SF Storage Cruiser
- Microsoft System Center Operations Manager

各リリースにおける変更点

版数	変更内容
16.3.7 (2023 年 1 月)	修正 ➢ 同梱しているオープンソースソフトウェアを更新
16.3.6 (2021 年 11 月)	修正 ➢ ETERNUS SF Storage Cruiser 16.8 以前の環境で情報取得が動作しない問題を修正 ➢ 同梱しているオープンソースソフトウェアを更新
16.3.5 (2021 年 9 月)	新機能 ➢ ETERNUS SF Storage Cruiser 16.9 サポート 修正 ➢ ログファイルが増加する問題を修正 ➢ 同梱しているオープンソースソフトウェアを更新
16.3.4 (2021 年 1 月)	修正 ➢ 同梱しているオープンソースソフトウェアを更新 ➢ 性能改善
16.3.3 (2020 年 3 月)	新機能 ➢ ETERNUS SF Storage Cruiser 16.8 サポート ➢ FUJITSU Storage ETERNUS AF S3 series, ETERNUS DX S5 series, ETERNUS DX8900 S4 サポート 修正 ➢ Object Name について大文字/小文字を区別できない問題を修正
16.3.2 (2019 年 3 月)	修正 ➢ 性能情報取得時に Cookdown が動作しない問題を修正 ➢ デフォルトの検出時間、監視間隔時間をガイドライン推奨値に変更
16.3.1 (2016 年 5 月)	修正 ➢ ETERNUS SF Storage Cruiser のサービスを再起動した際に、情報取得ができなくなる問題を修正
16.3 (2016 年 1 月)	新機能 ➢ 構成情報表示、性能情報表示のサポート
16.0 (2013 年 12 月)	新機能 ➢ FUJITSU Storage ETERNUS SF Storage Cruiser 16 対応
15.1 (2013 年 4 月)	初版

Copyright 2023 FUJITSU LIMITED

注意事項（構築時）

1. アップグレードインストールについて

- Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Pack V16.3.4 から V16.3.7 までに含まれる Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Pack のファイル(Fujitsu.Storage.Systems.ETERNUS.mp)は、V16.3.3 から変更がありません。このため、V16.3.3 からアップグレードする場合は、ETERNUS DX API Service のみを再インストールしてください。
- ETERNUS DX API Service は、V16.3.4 からアップグレードインストールをサポートしています。V16.3.4 より前のバージョンからバージョンアップを行う場合は、旧バージョンをアンインストールしてから、新バージョンをインストールしてください。
- デフォルトの検出時間、監視間隔時間をガイドライン推奨値に変更したことにより、新規インスタンスを検出するまでの時間、および、ステータス変化を検出するまでの時間は旧版よりも長くなります。これらの時間は変更することが可能です。変更方法については、Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Pack 16.x ユーザーズガイド 付録 C を参照してください。

2. ETERNUS SF Storage Cruiser のバージョンアップについて

- ETERNUS SF Storage Cruiser をバージョンアップする場合は、事前に ETERNUS DX API Service を停止させてください。バージョンアップ後に再度サービスを起動させてください。
- ETERNUS DX API Service 16.3.3 の導入後に ETERNUS SF Storage Cruiser を V16.8 以降にバージョンアップする場合は、バージョンアップ後に以下のコマンドを実行してください。
  <*インストールフォルダー*>¥bin¥sharedloaderRefresh.bat

注意事項（運用中）

1. 構成情報や性能情報が表示されなくなる

下記の事象が発生すると、SCOM オペレーションコンソールに構成情報や性能情報が表示されなくなることがあります。

- ETERNUS DX ディスクストレージシステムにおいて、CM 縮退／再起動が発生した場合
- ETERNUS SF Storage Cruiser をインストールした運用管理サーバにおいて、CPU 使用率が高くなった場合

この場合、以下の手順で SCOM エージェントの修復操作を実施することで表示を回復できます。

① SCOM オペレーションコンソールで[管理]ペインのナビゲーションウィンドウ内で「デバイスの管理」→「エージェントで管理」を選択します。
右側のウィンドウに SCOM で管理されているエージェントが表示されます。

② ETERNUS SF Storage Cruiser をインストールしている運用管理サーバのエージェントを選択して、右クリックメニューから「修復」を選択します。

③ エージェントの修復ダイアログボックスで「修復」ボタンをクリックします。

④ [監視]ペインに切り替えてナビゲーションウィンドウ内で「タスクの状態」を選択します。状態が”開始”から”成功”に変わると修復操作は完了です。

操作後、構成情報や性能情報が表示されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。

Copyright 2023 FUJITSU LIMITED

2. Operations Manager のイベントログにイベント ID 6024 が出力される

上記イベントが出力される場合、以下の手順でリソースの調整を行ってください。

① SCOMオペレーションコンソールを起動し、[作成]ペインのナビゲーションウィンドウ内で「管理パックオブジェクト」→「モニター」を選択します。

② 右側のウィンドウで、「エージェント」→「エンティティのヘルス」→「パフォーマンス」→「System Center Management ヘルスサービスのパフォーマンス」→「System Center Management ヘルスサービスのメモリ使用率」→「ヘルスサービスのプライベートバイトのしきい値」を選択します。

③ 右クリックメニューから「上書き」→「モニターの上書き」→「クラスエージェントのすべてのオブジェクト」(または、[クラスエージェントの特定のオブジェクト])を選択します。

④ 「上書きプロパティ」ダイアログボックスで、「エージェントパフォーマンスモニターの種類(連続するサンプル) – しきい値」の「上書き」列のチェックボックスにチェックマークを付けて有効にし、「上書き値」に規定値よりも大きな値を入力します。(入力値は、環境構成規模に依存します)

⑤ 上書きは、書き込み可能な管理パックに保存する必要があります。Microsoft 社では、「Standard Management Pack」を使用しないことを推奨しています。したがって、「目的の管理パックの選択」で「新規」を選択し、新しい管理パックを作成してください。

⑥ [OK]ボタンをクリックすると、選択された管理パックに変更が保存されます。

⑦ ②～⑥の手順と同様に、「ホストのプライベートバイトの閾値の監視」についても設定してください。

3. Operations Manager のイベントログにイベント ID 623 が出力される

上記イベントが出力される場合、下記のレジストリ値を調整してください。

場所：¥HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥HealthService¥Parameters

名前：Persistence Version Store Maximum

4. Operations Manager のイベントログにイベント ID 2023 が出力される

上記イベントが出力される場合、下記のレジストリ値を調整してください。

場所：¥HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥HealthService¥Parameters¥Management Groups¥<グループ名>

名前：maximumQueueSizeKb

Copyright 2023 FUJITSU LIMITED

本書は、技術情報として提供するものであり、本書に記載されている内容は改善のため、予告なく変更することがあります。
記載内容に誤りがあれば、富士通株式会社までお知らせください。
富士通株式会社は、本書の内容に関して、いかなる保証もいたしません。また、本書の内容に関連した、いかなる損害についてもその責任は負いません。

インターネット情報ページ

https://jp.fujitsu.com/eternus/

製品・サービスについてのお問い合わせは

富士通コンタクトライン 0120-933-200

受付時間 9:00～17:30（土・日・祝・年末年始を除く）

富士通株式会社 〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

Copyright 2023 FUJITSU LIMITED